

平成29年度 教員免許状更新講習シラバス

| | |
|--------|--|
| ■講習名 | こころ豊かな子どもを育てる道徳教育 |
| ■時間数 | 6時間 |
| ■受講対象者 | 小・中・高等学校教諭 |
| ■担当講師 | 廣岡 義之 |
| ■評価方法 | 3講習の筆記試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。 |
| ■教材等 | 必要に応じて資料を配付する。 |

■講習の概要

道徳教育の現状と課題を踏まえて、「特別の教科 道徳」について概観するとともに、子どもたちの心を豊かに育てる道徳の授業をどのように展開すればよいか、具体的な授業方法を学びます。

選りすぐられた道徳の読み物教材をいくつか使用しながら、どのような視点から子どもたちに発問すればよいか、また中心発問はどのように設定すればよいか等、実際の模擬授業も織り込みつつ、実践的な指導力の向上を図ります。

講習Ⅰ 道徳教育とどのように取り組めばいいのか

道徳教育は、人間的魅力を増すための教育であり、「粹な」ふるまいのできる人間を育成することでもある。「特別の教科 道徳」で、子どもの「心」を開くことが大切なことになるがどのような道徳の授業にすれば、それが可能になるのか、具体的に考察する。

講習Ⅱ 「特別の教科 道徳」で使用する良質の読み物教材の理解と中心発問の作り方

資料のストーリーを読む中で、主として主人公の道徳的变化（道徳的意識や行為の変化、道徳的問題の所在や葛藤場面）を捉える方法を学ぶ。主人公が道徳的变化をする「前」と変化した「後」がどこかを突き止め、道徳的变化の「直後」が中心発問の箇所となること等を具体的に説明し、実際の読み物教材を使用しつつ実践的な学びを講習では行いたい。

講習Ⅲ 「特別の教科 道徳」で使用する良質の読み物教材の理解と指導案の作り方

中心発問に対する「予想される子どもの答え」を可能な限り考えることによって、子どもからより多くの答えを出し尽くすことができる指導案作成をめざす。中心発問とそこに至るまでの基本発問のコツも学ぶことになる。主題名、内容項目、ねらいを確定したりして、指導案を完成させる実際の演習も取り入れたい。

成績評価の観点

「特別の教科 道徳」の特性を理解しつつ、読み物教材の理解を深め、心豊かな道徳の授業が遂行できるための指導案を完成することができる。